



学校教育の充実を推進していくための 今後の取組について

岩上 博志 議員



質問 児童生徒がタブレット端末のアプリで活用している学習支援ソフト「ロイロノート」について、利用価値と授業での活用状況について伺います。

答弁 直感的に操作できる学習支援ソフトであり、児童生徒の学習データを蓄積することができ、カード形

式で思考を整理・共有できるため、自分の考えを可視化しながら、他者と比較・交流する力を自然に身につけることができます。遠隔でのやり取りや学習履歴の蓄積が可能であることから、不登校児童生徒への支援にも効果を発揮しています。

質問 郷土愛を醸成する



本市における子どもたちに係る社会課題と 多文化共生の取組について

柴田 信 議員



質問 本市における子どもたちに係る社会課題について問う。

答弁 まず、子どもたちの第3の居場所づくりとして、教育支援センターふれあい学級や向井千秋記念子ども科学館のROCKE TL a bのほか、三野谷・西・渡瀬公民館が放課後子ども教

室、シルバー人材センターがおさらい教室を実施しています。また、児童生徒の多様なニーズに答えられるよう、市内フリースクールとの連携を進めるなど、今後子どもたちが安心して学習に取り組めるよう支援したいと考えています。また、子どもたちの貧困

ツールとして、「上毛かるた」を学校教育の中で扱うことができるのか伺います。

答弁 学校教育において「上毛かるた」を扱うことは可能です。楽しみながら郷土を知る機会となることから、昼休み時間などでの活用について、学校に働きかけていきたいと考えます。

質問 教育研究所等に臨時日本語学級を開設し、日本語を全く読み書きできない外国籍の児童生徒を受け入れ、進歩の状況により在籍

や格差の問題について、現在活動中のこども食堂が3団体あるほか、フードバンクを運営する1団体が、こども食堂の運営団体に食品等の提供を行っています。本市では、食材等の協力事業者とこども食堂との連絡調整等を行っています。今後も民間協力団体との協働により、こども食堂の支援に努めていきたいと考えています。

質問 本市の外国人住民の犯罪件数に関して現在の状

校に戻して授業を受けられる環境にならないか伺います。

答弁 太田市や大泉町の施設や教育システムについて実際に視察を行い、運営の状況や効果を聞き取りました。日本語指導を必要とする児童生徒への支援を考える上で大変参考になり、引き続き研究していきます。

質問 中学3年生の修学旅行の費用が現在幾らになっているのか伺います。

答弁 中学校5校の平均で

況は。

答弁 館林警察署管内で、刑法犯として検挙された外国人が外国人住民全体に占める割合は、直近3か年で0.5%以下となっています。

質問 本市や周辺自治体において外国人住民は年々増加しており、就労者も毎年500人以上増え続けています。館林警察署管内の外国人住民の犯罪検挙率が0.5%以下ということもあり、外国人住民の増加により、外国人住民の犯罪件数が増

7万3750円となっています。

意見 修学旅行の全額無償化は無理だとしても、子育て支援として、コロナ禍前から値上がりした分の1万2000円の補助を実施できれば家計負担の軽減になります。補助が難しいれば、経済的理由で修学旅行に参加できない生徒が出ないよう市教育委員会の指導の下、各校で行き先変更等の検討を重ねてほしいと思います。

加したという事実には当てはまりません。

本市における多文化共生の取組について問う。

答弁 日本語の理解により互いにコミュニケーションが図れ、日本文化への理解も深まるため、国際交流協会の協力による日本語教室開催のほか、本市では、日本語能力試験受験料の一部補助を行っています。また、市の組織に多文化共生係を置き、多文化共生社会の推進に取り組んでいます。